

イカナゴ親魚調査結果概要

香川県水産試験場

平成27年12月7日、21日、平成28年1月5日の計3回、高松～庵治地先において空釣りこぎによる親魚調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。12月の2回目の調査で、産卵個体が確認されなかったため、1月5日に臨時調査を行いました。

1. 親魚密度 (表1, 2)

・速力3～5ノットで1地点5分曳きを2～3回ずつ3～5地点(図1)において実施した。

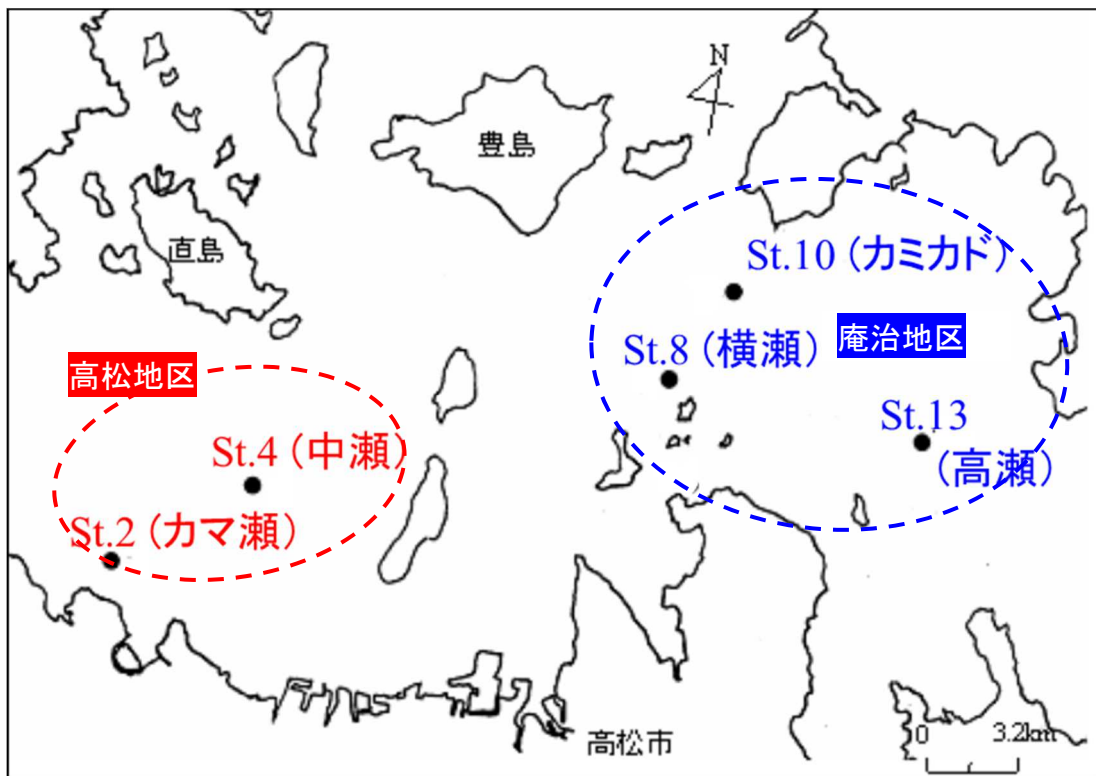


図1 調査地点

表1 調査地点ごとの親魚密度 (空釣りこぎ1回あたりの採集尾数)

調査地点	1回目		2回目		3回目		平均		全体	
	1才魚	2才魚以上	1才魚	2才魚以上	1才魚	2才魚以上	1才魚	2才魚以上		
高松地区	St.2 (カマ瀬)	3.0	0.0	4.0	0.3	実施せず	3.5	0.2	3.7	
	St.4 (中瀬)	1.0	0.0	2.3	0.0	12.3	0.0	5.2	0.0	5.2
庵治地区	St.10 (カミカド)	2.0	0.0	5.7	0.0	実施せず	3.8	0.0	3.8	
	St.8 (横瀬)	実施せず		5.3	0.3	7.0	4.5	6.0	2.0	8.0
	St.13 (高瀬)	2.0	0.7	4.0	1.3	1.0	0.0	2.5	0.8	3.3
計	2.0	0.2	4.3	0.4	7.6	1.3	4.1	0.5	4.6	

表2 親魚密度・年齢組成・平均全長（過去の調査との比較）

		1才魚			2才魚以上			全体
		親魚密度 (尾/回)	割合 (%)	全長 (mm)	親魚密度 (尾/回)	割合 (%)	全長 (mm)	親魚密度 (尾/回)
H18	冬期	23.8	45.2	77.1	28.8	54.8	119.6	52.6
H19	冬期	4.4	46.0	83.7	5.2	51.0	111.5	9.6
H20	冬期	7.4	96.0	89.2	0.3	4.0	124.6	7.7
H21	冬期	1.6	31.0	90.2	3.6	69.0	130.5	5.3
H22	冬期	14.2	99.5	88.9	0.1	0.5	141.6	14.2
H23	夏期	11.7	82.2	76.9	2.6	17.8	126.4	14.3
	冬期	7.4	71.3	78.9	2.8	28.7	127.2	10.2
H24	夏期	101.5	99.5	76.3	0.5	0.5	138.9	102.0
	冬期	20.5	84.1	81.4	3.9	15.9	144.0	24.3
H25	夏期	15.1	93.2	76.9	1.1	6.8	118.0	16.2
	冬期	2.4	52.5	84.3	2.2	47.5	120.9	4.6
H26	夏期	7.6	100.0	82.6	0.0	0.0	-	7.6
	冬期	4.9	72.1	84.1	1.9	27.9	130.9	6.8
H27	夏期	6.5	97.0	81.5	0.2	3.0	118.8	6.7
	冬期	4.1	89.2	84.7	0.5	10.8	130.4	4.6

・親魚密度（空釣り1回当たりの採集尾数）は4.6尾で、昨年7月の調査における6.7尾より少なかった。

・年齢組成は昨年7月の調査では1才魚（調査当時0才魚）が97%であったが、冬季調査では1才魚が89.2%、2才魚以上が10.8%と、2才魚以上の割合が若干増加した。

*年齢の起算日は1月1日とする（1才魚：平成27年1月1日生まれ）。

2. イカナゴ親魚の全長組成（図2、表1）

・平均全長は1才魚が84. mm (n=137) であり、昨年（平成26年12月）の全長（81.5 mm）よりやや大きかった。

・2才魚以上は130.4 mm (n=17) であり、昨年の全長（130.9mm）と同程度であった。

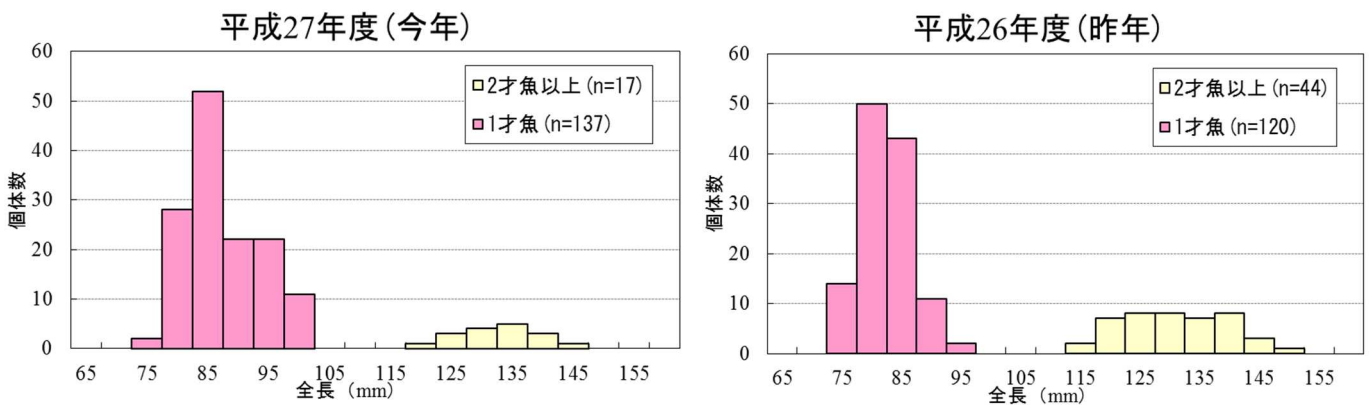


図2 イカナゴ親魚の全長組成

3. 産卵状況

1) 水温の動向 (図3)

- ・今期の屋島湾 (備讃瀬戸) の水温は, 11 月前半は概ね平年並みに推移していたが, 11 月後半から 12 月前半は平年値 (1985 年-2014 年の平均値) より 1.0℃程度高く, 12 月後半以降は 1.7℃程度高く推移している。
- ・成熟開始のきっかけになると推測されている「水温 20℃」を下回ったのは, 平成 27 年 11 月 12 日で, 平年 (11 月 9 日頃) より 3 日遅かった。
- ・夏眠終了が本格化すると推測されている「水温 13℃」を下回ったのは平年より 14 日遅い 12 月 31 日であった。

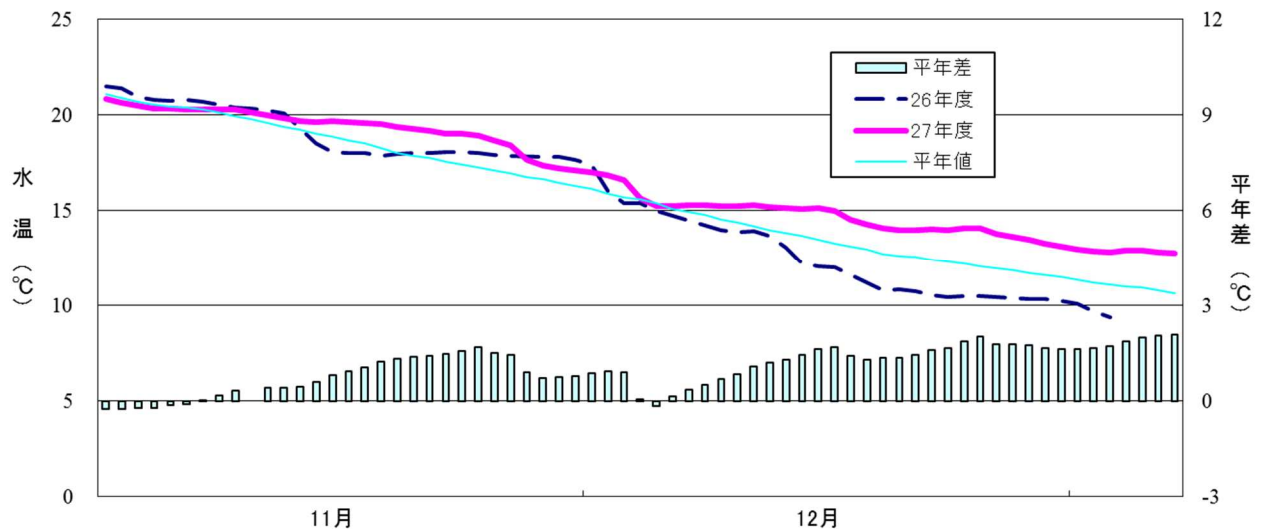


図3 水温の推移 (屋島湾水深 1.5m)

2) 生殖腺熟度指数の推移 (図4)

- ・メス親魚の生殖腺熟度指数 (GSI (%)) = 生殖腺重量 ÷ 体重 × 100 の推移を図4に示した。1才魚, 2才魚以上とも 12月21日から1月5にかけて大きく低下した。
- ・高松の2才魚以上は調査期間中1尾しか採集されなかったため, グラフには掲載していない。

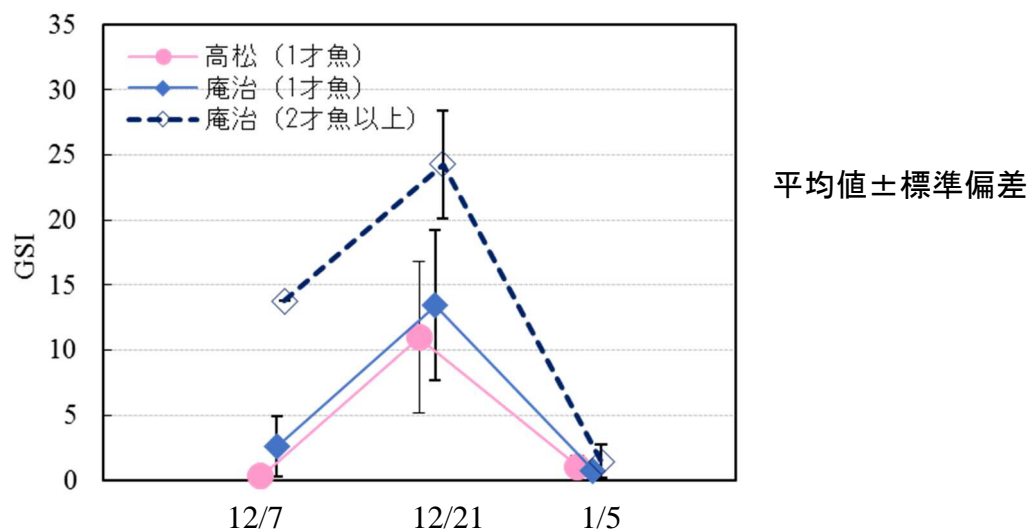


図4 イカナゴ親魚 (メス) の生殖腺熟度指数の推移

- ・生殖腺熟度指数の推移から, 今年の産卵盛期は12月末~1月初めであったと推測される。

4. 今後の予定

○稚仔の出現状況調査

・備讃瀬戸及び播磨灘の23調査地点において、1月前半、後半及び2月前半の3回実施予定。

○イカナゴ新仔（シンコ）情報の公表

・2月下旬頃を予定。